

英語

出題の傾向

長文問題・会話の問題・文法問題・文の書き換え問題・語句の並べ替え問題・語彙の問題・発音・アクセントの問題・英作文等様々な形式に基づいた出題となっています。中学校での既習内容を踏まえた標準問題がほとんどで基本的な単語・熟語・構文力を身につけておけば特に難しいものではありません。ただ、配点上、長文問題がかなりの点数を占めていますから、決められた時間内に長文を読み、その内容を理解する読解力が必要となります。

2017 今年度の出題と解説

① 長文読解問題

長文を読み、総合的な英語力を試す問題です。以前までは評論を中心とした問題を出題していましたが、ここ最近では会話形式での出題が続いています。今年度のテーマは『たこ焼きパーティー』についてでした。会話の流れを踏まえながら、英文の内容をきちんと把握できているかどうかを試す問題です。

問1 下線部①、⑦は比較的よくできていましたが、eatenをeattenとしている答えや、madeをmakedとしている答えが少しありました。不規則動詞の変化を確実に覚えておくことが大切です。過去分詞にすることは分かっていたのに正解とならず残念でした。下線部⑥の答えでは、正解のexpensiveをexpenciveと移し間違えている答えが数人ありました。

問2 下線部②のsoの内容が説明できない受験生が多く見受けられました。withoutの存在を意識せず、「鱈とヒレのないシーフード」の説明ができていない内容でした。またmust not（禁止の意味）の訳を忘れている人も多く見られました。下線部⑧のtry itは「食べて（試して）みたい」と訳せていないようで、「作りたい」と説明している答えが多くありました。

問3 下線部③は約半数の受験生が正解でしたが、下線部④では8割近くの受験生が不正解となりました。scales or finsが中心となる答えですが、any seafood without scales or finsと書いている受験生が目立ちました。これではany seafoodが中心となる答えになってしまいます。

問4 やはりmust not（先述）の訳し方ができていない解答が約半数でありました。また、is there any ~?の訳を、「～はありますか」とするところを「～はいくつありますか」と訳している生徒も比較的多かったです。

問5 ではdの正答率が低くなりました。ダニエルの国にある豆腐がマイの国からのものとは書いてはありませんが、何故か勘違いした受験生が多く4割弱の正答率でした。

問6 は英問英答形式の答え方に慣れていない受験生が多く、文ではなく単語だけで（例えば(1)であれば、golf ballとのみだけ書く）答える受験生が多くありました。S（主

語）+V（動詞）をきちんと使って答えるようにしてお願いください。また、S（主語）が書けていても適切な代名詞にできていない答案も多くありました。(3)の問題では、He is going to put tofu in it.とするとところを、He going to put in tofu. (isがなく、豆腐の中に入れるという意味になる?)としている答えが複数でありました。

会話文では、登場人物のそれぞれが何を発言し、どう話が展開しているのかを頭の中でイメージしながら読むことがとても大切になってきます。また、ちょっとしたミスで減点となってしまう部分がたくさんありますので、比較的短い文でも正確に読み取っていくことを身につけてください。

② 文の書き換え問題

昨年とほぼ同じ難易度の問題でしたが、(4)と(5)は低い正解率でした。(4)では、wasをisやwereとしている答え、builtをbuildにしている答えが多くありました。(5)ではare thereをis thereにしている答えが多くありました。

じっくり考えればできる問題ですので、ケアレスミスをしなないようにしましょう。教科書や問題集などを見て、同じような意味を表す文をまとめて整理しておきましょう。

③ 語句の並べ換え問題

(2)、(3)の問題で低い正答率でした。S V O Cの語順が身につけていないようで、(2)では、I found the book more difficult. をI found more difficult the book.にしている。(3)では、The old man always keeps his garden clean. をThe old man always keeps clean his garden. とOとCの語順を逆にしている人がかなり多くいました。この文型の語順に関する問題は毎年出題しています。(4)の答えでMy brother とheを逆に書いている答案も少しありました。

(My brother says that he wants to be an engineer. をHe says that my brother wants to be an engineer. にしている → これでは私の兄以外の誰かが自分の兄弟がエンジニアになりたいと言っていることになる)

これらの問題では、日本語を参考にどのような文法を問われているのかを考え、語を並べていきます。どれもが文法問題集等では典型的な並べかえ問題ですので、落ち着いて考えれば解ける問題です。ほとんどが学校で学習した文法からの出題ですので、各文法事項を確実に身につけ、応用できるように問題集を解いて慣れておくことが必要です。

例年、助動詞、不定詞、分詞、動名詞、完了形、比較、関係代名詞といった文法事項がよく出題されています。

④ 会話文の問題

(1)、(2)は全体的には良くできていて点数稼ぎの問題となりましたが、(3)、(4)の問題は約半分の正答率でした。

こういった問題は、会話の状況をよくイメージすることが大切です。教科書や問題集などを参考にして、会話での決まり文句のような基本的な会話のやり取りを身につけておきましょう。

⑤ 語いの問題

基本単語を出題しました。(2)のcurry があまり出来ていませんでした。カレーという答えは分かっているでもそれを正確なつづり字に出来なかったようでした。

単語の定義が英語で示されています。短い英語を正確に理解することが大切です。また、教科書に出てくる単語は意味を覚えるだけでなく、必ず書いて練習して書けるようにしておきましょう。

⑥ 空所補充問題

教科書レベルの基本的な文法力や語彙力を試す問題です。全体的によくできていました。典型的な空所補充問題ですので、教科書や問題集の例文などを見直しておきましょう。

⑦ ⑧ アクセント・発音の問題

基本的なアクセント・発音を出題しました。日頃、英文を読むときに発音を意識し、音読することを心がければ、この種の問題への対応がしやすくなります。

⑨ 英作文の問題

例年通り、条件を示した上での、自由英作文を出題しました。

(1)ではcoffeeのつづりができていない答え、(2)では

What timeで始められずにWhenで代用してしまう答え、tonightが書けていない答えが多くありました。

出来上がったら、日本語をもう一度良く読み、全ての日本語の英訳に誤りがないかをよく確認しましょう。また、疑問文なのでクエッションマークは必ず必要です。

解答例を見れば分かるように、決して難解な表現を問う問題ではありません。正確な英文をきちんと書けるようにしておくと共に、基本的な表現・語句がどのような状況で用いられるのか、日頃から意識して学習するようにしておきましょう。

対策と アドバイス

標準的な問題がほとんどで、教科書を中心に勉強しておけば対応できます。定期考査や実力問題で出題された問題を復習すると共に、教科書に出てきた単語、熟語、重要文を理解して、徹底して暗記しておいてください。また、文法のパターン練習が不足していると思われる解答が目立ちました。市販の問題集などで問題に慣れておくとも良いでしょう。長文問題の苦手な受験生は、まず教科書の英文を読み、その内容が確実に理解できるようにしておいてください。過去の問題集を解いて慣れておくことも大切です。最後に、英文に接する際には必ず小声でいいので、音読をする習慣を身につけておきましょう。そして、単語は必ず書いて覚える勉強法を実践してください。